

平成30年度 能美市地域公共交通検討業務の実施 について（事業説明）

平成30年7月13日（金）
能美市地域公共交通会議

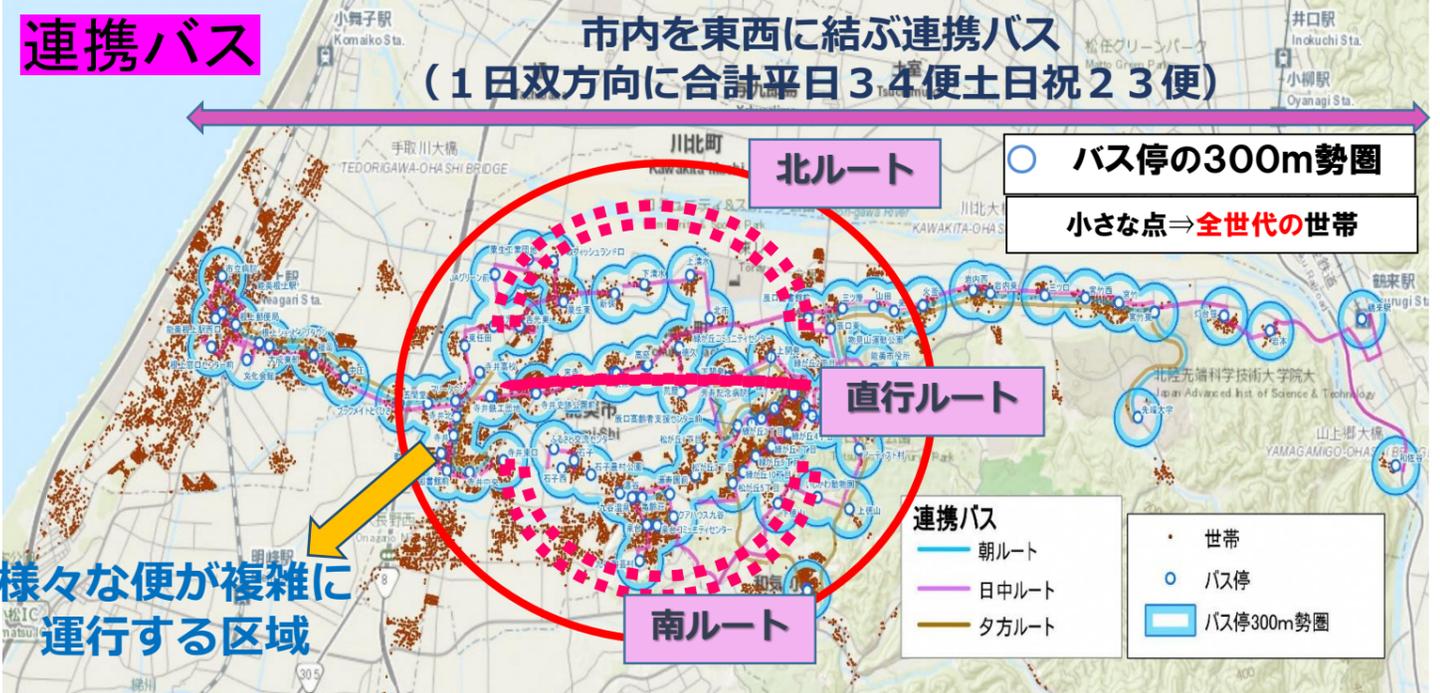
能美市企画振興部地域振興課

目次

- 3 ページ ・ ・ 能美市地域公共交通検討における趣旨と現況・課題について
- 5 ページ ・ ・ 能美市地域公共交通の検討について
- 6 ページ ・ ・ 市民アンケート調査の実施について
- 7 ページ ・ ・ 市民アンケート調査分析と「のみバス」等の見直しについて
- 8 ページ ・ ・ 公共交通の活性化を通じた「魅力ある地域づくり」について
- 9 ページ ・ ・ 今年度の地域公共交通再編検討スケジュールについて

②現況・課題 (つづき)

のみバスのルートと世帯分布に関する状況図



様々な便が複雑に運行する区域



「のみバス」連携バスの主な役割

- 各地区の中心街や、人口密集地を通り、市の東西の移動を支える基幹路線 (通勤通学や、市内の各地区間の日常目的の移動)

「のみバス」連携バスについて(主な利用動向(特徴)や課題点)

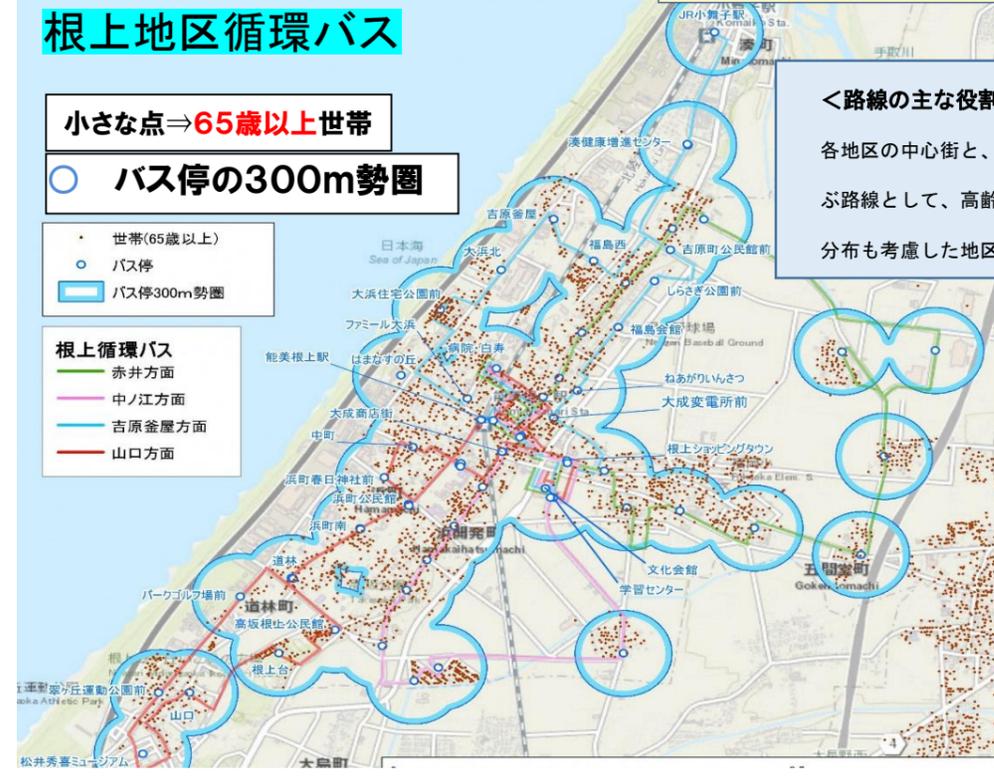
- 朝夕は、通勤通学目的で、学生や社会人の方の能美根上駅での乗降や、寺井高校生の利用が多く、かつ、利用者も多い状況ですが、日中の時間帯は、運行ルートが複雑化しており、結果的にそれぞれの方面の**便数の減少**や**速達性の低下**などを招いており、**利便性の低下**や**利用者の不満 (利用者の伸び悩み)**を引き起こしています。

「のみバス」循環バスの主な役割

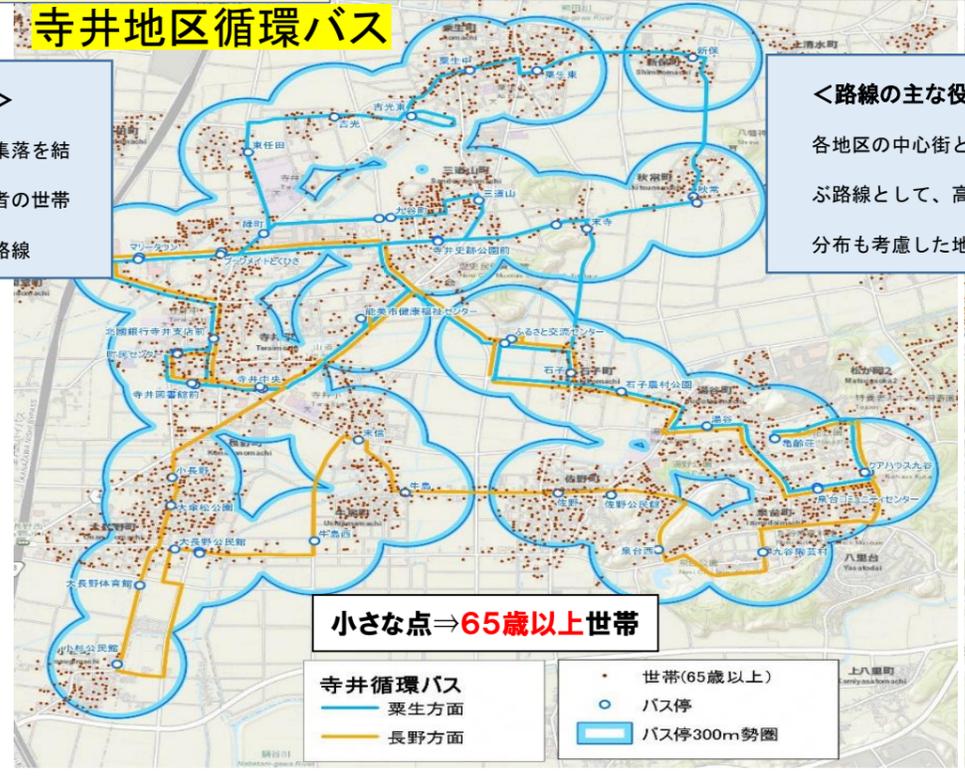
- 各地区の中心街と、集落を結ぶ路線として、高齢者の世帯分布や、集落の地理的特徴も細かく考慮した、地区内の移動を支える路線

「のみバス」循環バスについて(主な利用動向(特徴)や課題点)

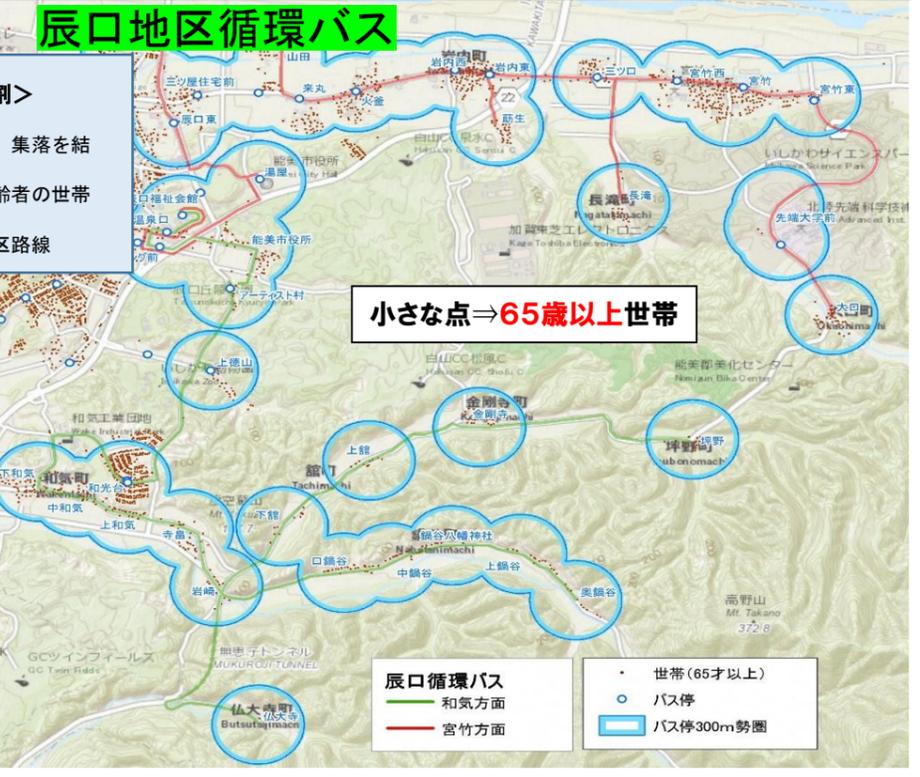
- 利用者は、高齢者がほとんどを占めており、日中時間帯の日常用途 (買物、病院、温泉) の利用が多い。運行便数は、各地区の循環バスで、**系統ごとに1日3~5便程度**。また、各地区ともに**1台の車両で複数系統を順番に運行**している為、連携バスに比べると便数が少なく、バス停もこまめに設置しているため、1便あたりの運行時間や、**便と便の間隔が長く**、高齢者の方にとっては、**利便性や待ち時間に対する大きな不満点**となっている。



<路線の主な役割>
各地区の中心街と、集落を結ぶ路線として、高齢者の世帯分布も考慮した地区路線

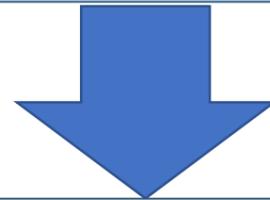


<路線の主な役割>
各地区の中心街と、集落を結ぶ路線として、高齢者の世帯分布も考慮した地区路線



小さな点⇒65歳以上世帯

「のみバス」を含めた現況の地域公共交通の実態や課題
市民の皆様の「のみバス」に対する改善要望や移動の足の確保を求める声



平成30年度

市民アンケート調査を実施し、アンケートの結果や現状の分析を踏まえ、
「のみバス」のルート・ダイヤ・バス停の再編を中心に、
公共交通の見直しを実施します

総合的な政策パッケージとして交通システムを再構築

公共交通再構築



再編

「のみバス」のルート・ダイヤ・バス停の再編を中心に、公共交通網見直し



市内活用



あんしん移動サポート

公共交通会議
や
分科会で検討



地域活性化



自助・互助の活用

分科会

公共交通を使いたいと思う
地域の体制や、サービスの検討



地域の魅力創造

分科会

■ アンケートの実施概要

- ・ 市長名により、無作為抽出で選ばれた約3800人宛てに郵送配布
- ・ 郵送開始7月13日、回収締切7月31日（約2週間）

■ コミュニティバス再編に向けたアンケート結果の活用方法と設問設計について

(1) フェースシート（問1～4）

内容：回答者の年齢、住まい、職業、家族構成

趣旨：回答者属性の違いによるコミュニティバス利用の実態の差異や利用傾向等を把握。

コミュニティバスの再編におけるルートやダイヤ、バス停の位置の決定に結びつくよう、再編に向けた客観的な着眼点を洗い出す。

(2) 普段の移動について（問5・6）

内容：外出の目的別に、どこにどの程度の頻度で、どの交通手段を使って移動しているか

趣旨：属性ごとのニーズの傾向を把握し、コミュニティバスの満足度とクロス集計することで、「のみバス」のどこに不満を持っているのかを把握し、ルートやダイヤ、バス停の再編の方針検討に役立てます。

(3) 公共交通を利用しない理由について（問7）

内容：問5・問6で公共交通を利用しないと回答した方に、公共交通を利用しない理由を聞く

趣旨：「のみバス」を利用しない理由が「のみバス」のみにあるのか、他の公共交通機関にも原因の一端があるのかを含め、公共交通を利用しない理由を把握。

(4) 「のみバス」について（問8・9）

内容：「のみバス」の料金支払い方法やのみバスへの理解度、認知度

趣旨：料金体系別の利用度（相対的割合）やPR方法についての、今後の取り組みへの参考とします。

(5) 地域公共交通の満足度について（問10）

内容：現在の「のみバス（連携バスや循環バス）」に対する満足度

趣旨：「のみバス」に対し、重要度や改善項目分析（ポートフォリオ分析）を行い、年代別や地域別で比較して、どういった移動目的に対し、どういった「のみバス」に対する改善を希望しているのかを客観的に明らかにし、「のみバス」の再編の方針検討に役立てます。
また、運行本数や始発の時刻、バス停までの距離については、具体的に希望値までを把握し、「のみバス」の再編の基礎とします。

(6) 「のみバス」への意識やサービス改善について（問11・12）

内容：のみバスの運行に対する市民の必要度や理解度やサービスについて

趣旨：現在ののみバスの運行に対する市民の方の必要度や理解度を把握します。
さらに、連携バスの朝・夕（通勤通学用）の運行や、運行間隔、地域の自助・互助による助け合いの仕組みについてなど、コミュニティバスの改善に向けた具体的なニーズを把握します。

(7) 利用したい移動手段について（問13）

内容：利用したい移動手段についての意識

趣旨：のみバスの利用だけでなく、地域の移動の確保については、有償・無償による移動手段が、様々ありますが、それらの移動手段について、市民の方の潜在的なニーズを把握します。

(8) 65歳以上の方の意識の把握について（問14～17）

内容：「あんしん移動サポート事業」の認知度や利用意向等

趣旨：「あんしん移動サポート事業」の認知度や利用意向を把握します。
また、将来の外出に対する不安や希望を把握し、今後急速に進展する高齢化社会を見据えたコミュニティバスの再編やサービスの在り方についての方針検討の参考とします。
運転免許返納に対する考え方を把握し、返納促進の方針を検討する参考とします。
その前提として、自家用車の維持管理費用を統計的に把握するとともに、負担感についても把握します。

(9) 高校生の通学状況（問18～23）

内容：高校生の通学状況や家族による送迎についての実態

趣旨：高校生の通学状況や家族による送迎についての実態を把握します。
また、高校生を持つ保護者の意見も聞くため、公共交通による通学費やそれに対する負担感、公共交通を利用していない理由などを把握し、高校生の利用を増加させる方策の着眼点を洗い出します。

「のみバス」の見直しに向けた分析の方法について

■よく行く施設・交通手段(目的別)と、満足度や改善項目とのクロス分析

- ①「のみバス」に対する、市民の皆様の満足度や改善項目（ポートフォリオ）について分析し、「のみバス」の見直しにおける、重点改善項目や重要度が高い分野を整理します。
つまり再編後の「のみバス」の利用に対する総合満足度を上げるために最優先で改善しなければならぬ項目などを整理し、ルートや、ダイヤ、バス停の決定における1つの根拠とします。



再編を考えるうえで、何が重要な点なのかを整理

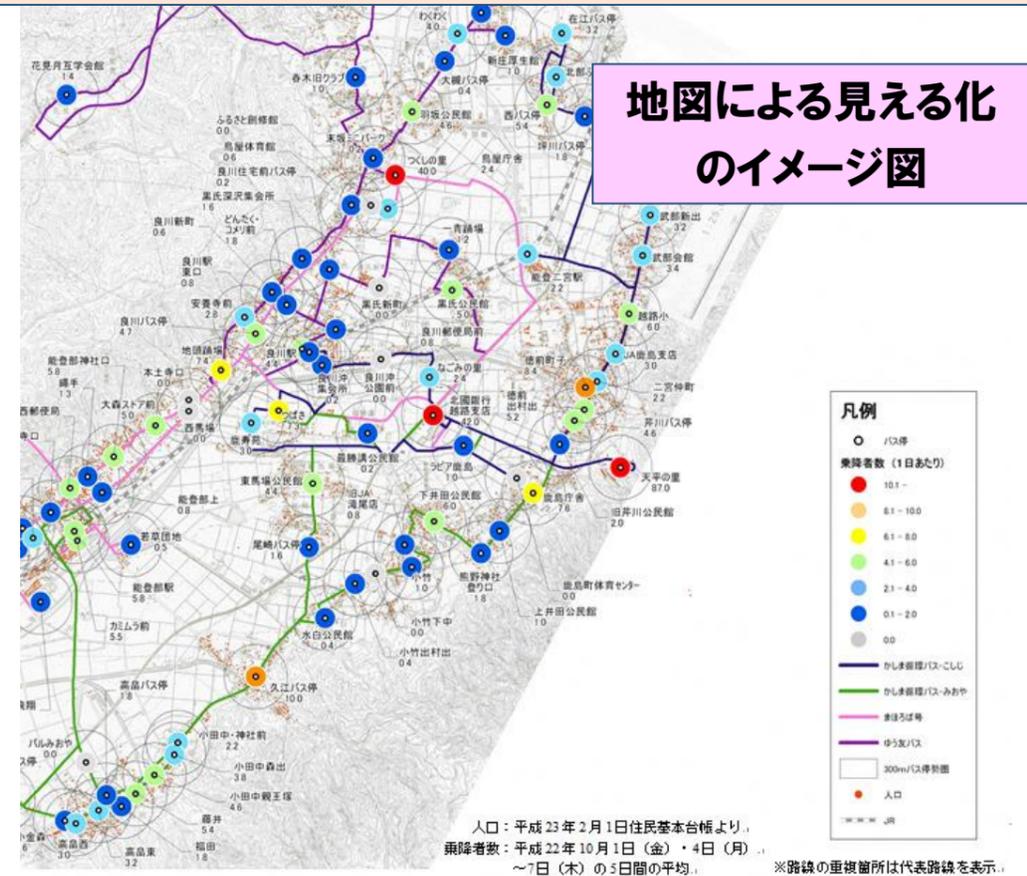
- ②また移動目的別（買物、通勤、通学等）に、それぞれの属性（年齢、居住地区、家族構成等）がどういった移動手段で、どの程度移動しているのかを把握し、これらの項目をそれぞれクロスさせ分析をすることで、「のみバス」の再編における、ルートづくりや、ダイヤ、バス停の位置を決める再編案を客観的に分析することができ、かつ、世代を越えた利用者のニーズに沿った再編に近づけます。

属性 × 移動目的 × のみバスに求める改善項目・重要度



利用者の世代や目的になるべく沿ったルートやダイヤ、バス停の再編に結びつける

アンケート分析にプラスして、
地図上で、各世帯の分布を把握し、各自治会の世帯分布状況に応じたルートやバス停の位置を再決定する



「のみバス」のルート・ダイヤ・バス停の再編を中心に、路線バスの活用や、タクシーを使った移動を含めた公共交通活性化策を検討します。

（成果）

- ①市民のみなさまにより一層ご利用いただける「のみバス」の再編と、地域公共交通網の再構築を目指します。
- ②公共交通の活性化を通じた、「魅力ある地域づくり」を目指します。

「のみバス」などの公共交通を利用したいと思う魅力の創造や、
 支え合い・助け合いにより、住み慣れた地域で住み続けられる、移動の確保の仕組みづくりを検討し、
 公共交通の活性化を通じた「魅力ある地域（まち）づくり」につなげます。

① 「のみバス」などの公共交通を利用したいと思う魅力の創造

◆のみバス定期券利用者などへのインセンティブ（魅力化）

- ①市内商業関係者との連携による「のみバス」利用者などへの優待施策
 新たな商品づくり（キャラクター使用）、割引等
- ②公共施設関係者等との連携による来場者への優待施策
 （入場料割引等）

② 支え合い・助け合いにより、住み慣れた地域で住み続けられる、移動の確保の仕組みづくり

◆自助・互助・コミュニティの醸成

- ①地域課題となっている「移動」について、解決に向けた検討を行う。
 のみバス利用での互助活動の検討
 （見守り、荷物、拠点での過ごし方、拠点までの支えあい、
 拠点までの足の確保等）

健康福祉部による、
 地域包括支援体制推進協議体（のみ共）
 「お互いさまの心でつながる地域づくり」との連携

JAIST
全生徒にアンケート
 ・のみバス利用状況
 ・能美市内に「のみバス」を利用して様々な用途で移動したいと思う魅力
 を調査
（地域ににぎわい、交流促進）

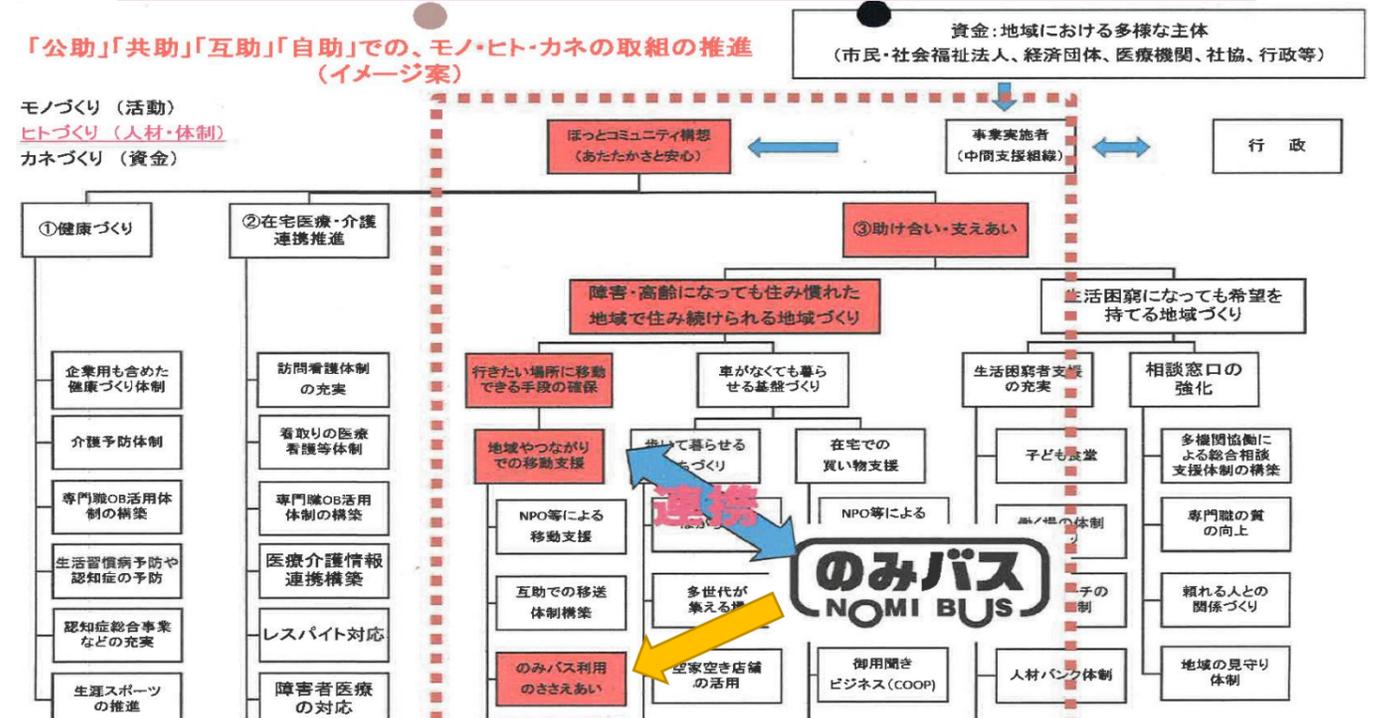
寺井高校
全生徒約500名にアンケート
 ・のみバス利用状況
 ・能美市内を「のみバス」を利用して、通学以外の目的でも利用したいと思う
 魅力について調査
（地域ににぎわい、郷土愛）

分科会
 JAIST生や寺井高校生だけでなく、
 高齢者の方も参加し「のみバス」
 を使って市内を移動したいと思う
 魅力について検討

- ・老人クラブ、JAIST、寺井高校
 商工会・のみ商業協同組合など
 が参加する検討会
- ・学生の意見も踏まえ、魅力創造策を
 アイデア出し、施策としてとりまとめ



北陸先端大学院大学（JAIST）との連携による検討



分科会
 元気な高齢者や、支え合い・助け合いがあれば「のみバス」を利用できる
 高齢者などが、安心して外出できる仕組みの検討

- ・市（健康福祉部、企画振興部）、社会福祉協議会、医師会、老人会等が
 参加する検討会

今年度の地域公共交通再編検討スケジュール

能美市地域公共交通再編検討作業工程表

作業工程	7月				8月				9月				10月				11月				12月				1月				2月				3月			
	1週	2週	3週	4週	1週	2週	3週	4週	1週	2週	3週	4週	1週	2週	3週	4週	1週	2週	3週	4週	1週	2週	3週	4週	1週	2週	3週	4週	1週	2週	3週	4週	1週	2週	3週	4週
1. 地域公共交通の現況把握・分析																																				
① 地域公共交通の実績（のみバスの実績等）																																				
② 公共交通網と人口・施設分布等のGISデータ分析																																				
③ 能美市の公共交通の現況と課題の整理																																				
2. 公共交通市民ニーズ調査作業																																				
① アンケート検討会																																				
② アンケート配布・回収	① 7/13~7/31																																			
③ アンケート集計・分析	②																																			
④ あんしん移動サポート事業結果分析（J技S）																																				
3. 地域公共交通再編案検討																																				
① のみバスの新しい再編について																																				
② 地域公共交通網（路線バスの活用等案）	検討																																			
4. 地域公共交通再編案（最終案）																																				
① 地域公共交通網（のみバスの再編等）																																				
② 利用促進施策（魅力面）																																				
③ 利用促進施策（自助互助）																																				
能美市地域公共交通会議	1回目 7/13																																			
再編検討分科会①（利用促進の為の魅力の検討）	寺井高校生 JAIST生アンケート 1回																																			
再編検討分科会②（自助互助の仕組みの検討）	政策検討部会による検討等 1回																																			
	第1次案 2回目（秋） のみバスの再編等の1次案の協議																																			
	最終案																																			

※今年度検討する「のみバス」の再編案は、平成31年度に以降の準備を行い、平成32年度より運行を開始する予定。

＜今後のスケジュールについて、主な要点＞

- ①のみバスの再編案・・・11月以降に平成30年度第2回目の能美市地域公共交通会議を開催し、第1次再編案を提示
- ②その他、「のみバス」の利用者に対する魅力づくりの検討や、自助・互助による支え合い・助けあいの検討も、都度検討会を開催し、能美市地域公共交通会議にて結果をご報告